

小美玉市地域公共交通に関するアンケート調査結果

小美玉市地域公共交通実証運行計画（循環バス社会実験計画）に基づく市内及び地域循環バスの実証運行について、市民の交通手段や動向、さらには循環バスに対する意識や満足度など、今後の循環バスのあり方等について検討するにあたり、必要な情報を得ることを目的として、アンケート調査を行いました。ご協力ありがとうございました。

なお、調査結果の概要につきましては、次のとおりです。

1. 調査期間

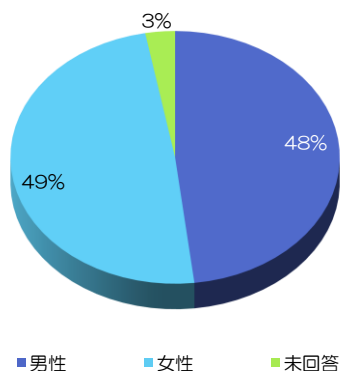
平成 27 年 8 月 6 日（木）～9 月 30 日（水）

2. アンケートの配布数と回答数

当該調査は、小美玉市全域並びに小美玉市民を対象としたことから、行政区組織などを通じて調査票および返信用封筒を配布しました。アンケート調査票は、12,804 世帯に配布し、世帯における回答数は 2,317 票を回収し、個人における回答数は 4,463 票を回収することが出来ました。

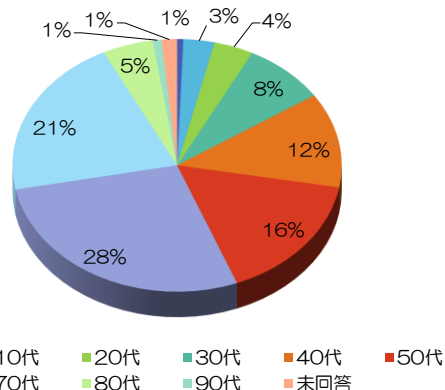
3. 回答者の個人属性

(1) 回答者の性別



回答項目	回答票数 (票)
男性	2,148
女性	2,185
未回答	130
合計	4,463

(2) 回答者の年齢

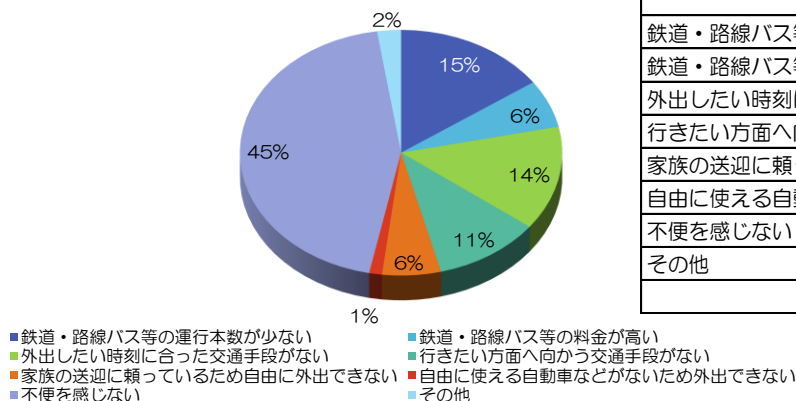


回答項目	回答票数 (票)	回答項目	回答票数 (票)
10代未満	27	60代	1,243
10代	136	70代	924
20代	174	80代	223
30代	362	90代	38
40代	542	未回答	68
50代	726	合計	4,463

回答者の性別について、ほぼ半々の回答割合が得られる結果となりました。

年齢層については、「60代」の方の回答割合が多く約 3 割を占めており、次いで多かった「70代」の方と併せるとアンケートの約半数を占める結果となりました。

(3) 市内の交通における課題

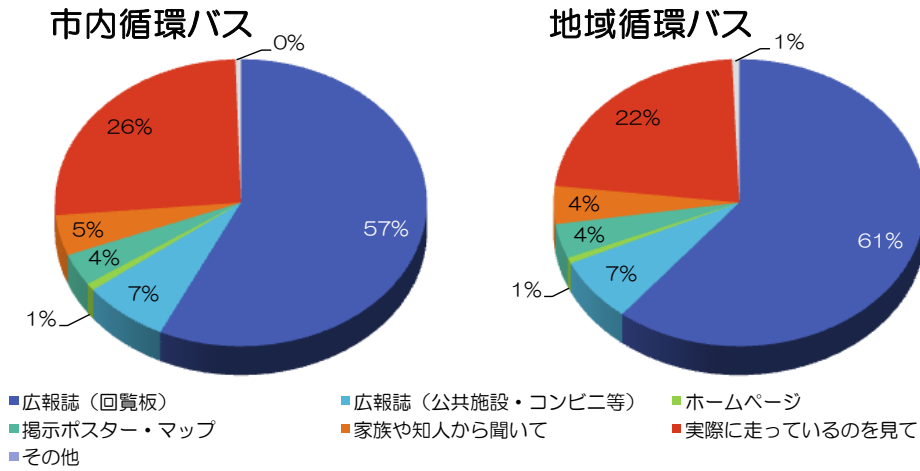


回答項目	回答票数 (票) ※複数回答
鉄道・路線バス等の運行本数が少ない	753
鉄道・路線バス等の料金が低い	311
外出したい時刻に合った交通手段がない	676
行きたい方面へ向かう交通手段がない	527
家族の送迎に頼っているため自由に外出できない	290
自由に使える自動車などがないため外出できない	63
不便を感じない	2,189
その他	118
合計	4,927

市内の交通における課題では、「不便を感じない」の回答割合が約4割を占める結果となりましたが、公共交通の運行本数の少ない状況についても課題と感じている状況となっています。

4. 市内循環・地域循環バスの認知度および運行存続について

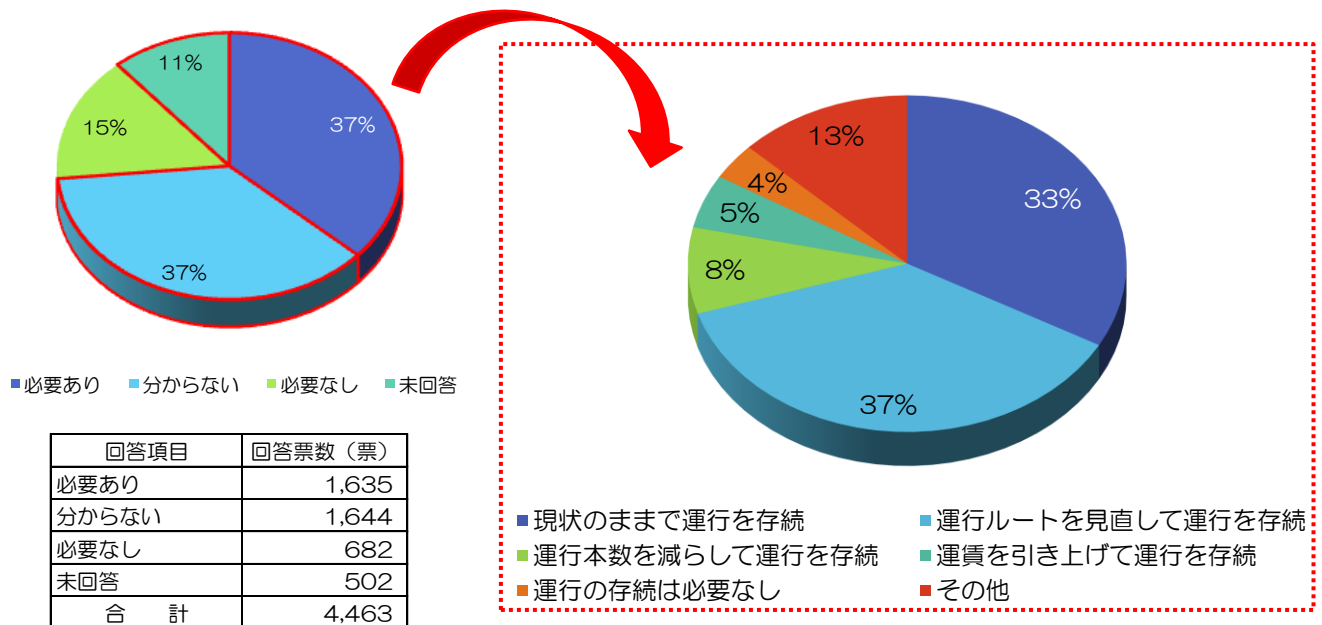
(1) 市内循環・地域循環バスを認知した媒体について（複数回答項目）



市内循環バスおよび地域循環バスともに「広報誌（回覧板）」の回答割合が高く約6割を占めています。次いで、「実際に走っているのを見て」の回答割合が多く約2割を占めています。

	回答票数（票）※複数回答	
	市内循環バス	地域循環バス
広報誌（回覧板）	2,612	2,314
広報誌（公共施設・コンビニ等）	342	274
ホームページ	37	25
掲示ポスター・マップ	166	148
家族や知人から聞いて	208	162
実際に走っているのを見て	1,185	856
その他	22	24
合計	4,572	3,803

(2) 市内循環・地域循環バスの運行存続について



回答項目	回答票数（票）
必要あり	1,635
分からない	1,644
必要なし	682
未回答	502
合計	4,463

市内循環バス・地域循環バスの運行存続について、「必要あり」と「分からない」を合わせると回答割合の約7割を占めています。

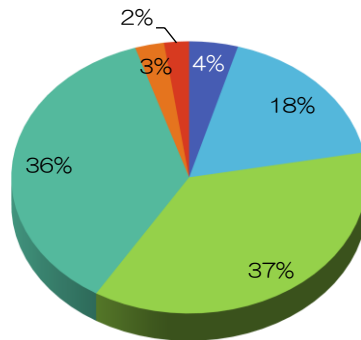
そのうち、運行存続の方法に関する意向では、

回答項目	回答票数（票） ※複数回答
現状のままで運行を存続	913
運行ルートを見直して運行を存続	1,026
運行本数を減らして運行を存続	229
運賃を引き上げて運行を存続	143
運行の存続は必要なし	97
その他	355
合計	2,763

「運行ルートを見直して運行を存続」の回答割合が高く約 4 割を占める結果となりましたが、「現状のままで運行を存続」の回答と僅差という結果となりました。

運行方法の見直しについては、今後、十分な検討を進めていきたいと考えています。

(3) 運行存続の理由について



- 自分あるいは家族が利用しているから
- 将来、自動車等を運転できなくなったときに、無いと困るから
- マイカーに比べ環境に対する負荷が少ないから
- 日頃は使わないが使いたいときにあったら便利だから
- 高齢者や学生などには重要な交通手段だから
- その他

回答項目	回答票数(票) ※複数回答
自分あるいは家族が利用しているから	178
日頃は使わないが使いたいときにあったら便利だから	707
将来、自動車等を運転できなくなったときに、無いと困るから	1,472
高齢者や学生などには重要な交通手段だから	1,458
マイカーに比べ環境に対する負荷が少ないから	106
その他	91
合計	4,012

運行存続の理由について、将来、自動車を運転できなくなったときの交通手段や交通弱者の交通手段の確保といった理由が多く、回答割合の約 7 割を占める結果となりました。

今回の調査では、回答者の 8 割以上の方が運転免許証を取得している状況となっており、日常生活において自家用自動車が必要な交通手段になっている一方で、運転免許証を持たない方においては、公共交通の運行本数の少ない状況等に不便を感じていることがわかりました。

市内循環バス・地域循環バスの運行につきましては、回答者の多数が存続を望んでおり、運行方法の見直しを含め、引き続き地域実情に即した適切な公共交通のあり方について、検討を進めてまいります。

■■■ バス実証運行期間延長のお知らせ ■■■

小美玉市地域公共交通実証運行計画（循環バス社会実験計画）により、平成 25 年 10 月より運行をしてきました市内循環バス及び、平成 27 年 6 月より運行してきました地域循環バスについて、小美玉市地域公共交通会議において審議した結果、実証運行期間を平成 30 年 3 月まで延長することになりました。その間、運行経路の変更、運行日の拡大等について、市民の皆様からいただきました「小美玉市地域公共交通に関するアンケート」の調査結果をもとに、市民、学識経験者、交通事業者等により構成される小美玉市地域公共交通会議において検討してまいります。

【問い合わせ】

企画調整課 まちづくり戦略室 ☎ : 0299-48-1111 (内線 1232)